様式第1号の1

年　　月　　日

博多港物流トライアル推進事業 参加申請書Ａ（国際海上貨物・荷主企業用）

株式会社　地域開発研究所

代表取締役　鈴木　洋　様

申請者 所在地

名　称

代表者職氏名　　　　　　　　　　　　　㊞

 担当者 所属・部署

 担当者名

 TEL

 FAX

 E-mail

令和５年度博多港物流トライアル推進事業について、下記の同意事項を了承の上、別紙の事業提案内容を添えて、参加を申請します。

|  |
| --- |
| 【同意事項】　博多港物流トライアル推進事業で採用された場合、下記の事項に同意の上、トライアル輸送を実施します。　　１　トライアル輸送関連情報の提供（事前・事後）　　２　トライアル輸送に係るヒアリング調査への協力（事前・事後）　　３　調査結果の活用（情報公開）への同意 |

|  |
| --- |
| * **事業提案内容**

別紙 |

１．博多港利用による国際海上貨物に係るトライアル輸送の内容

1-1）博多港利用によるトライアル輸送を行う背景・目的と取組内容

|  |  |
| --- | --- |
| 背景・目的 |  |
| 取組内容 |  |

1-2）博多港利用の効果について

効果が見込まれる項目について、下記のうち、当てはまるものすべてに○を付けて下さい。

|  |
| --- |
| ア　既存ルート変更によるコスト・リードタイム削減などの物流効率化　イ　モーダルシフトやSea＆Rail、Sea＆Seaへのシフトによる環境負荷低減や物流効率化　ウ　生産拠点移管や物流拠点分散化（博多港シフト）による物流効率化　エ　生産拠点移管や物流拠点分散化（博多港シフト）による事業継続性の確保（事業継続計画（BCP）の実施）　オ　その他、博多港利用により、物流面の改善効果等の発現が見込まれる事業 |

※オ その他の場合は下記に内容を記入すること。

|  |
| --- |
|  |

1-3）トライアル輸送ルート（今回、計画）と貨物量

トライアルの輸送ルートについて、生産地から消費地まで記入してください。

輸出：国内生産地（市町村）→積出港（＋積替港）→海外仕向港→最終仕向地（国）

輸入：海外仕出地（国）→積出港（＋積替港）→国内港→最終仕向地（市町村）

|  |  |
| --- | --- |
| 品目名 |  |
| ルート | 輸出　　　　輸入　　　　　（該当するものを○で囲んでください） |
|  |
| 貿易条件（CIF、FOB等） |  |
| 利用船社 |  |
| 貨物量＊ | 年間　　　　　　　　　　　TEU（見込） |
| 特記事項 |  |

＊コンテナ以外の荷姿の貨物量については、（荷姿に応じて）単位を修正の上、ご記載ください。

1-4）これまでの利用ルート／比較検討ルートと貨物量

　（トライアル輸送に対し）これまで利用してきたルートや比較検討ルートを記入して下さい。

輸送ルートをシフトする場合：これまで利用していたルート

　　　　　　今回、新たに博多港を利用する場合：博多港以外に比較検討した他港利用等のルート

|  |  |
| --- | --- |
| ルート |  |
| 利用船社 |  |
| 貨物量＊ | 年間　　　　　　　　　TEU（実績） |
| 特記事項 |  |

＊コンテナ以外の荷姿の貨物量については、（荷姿に応じて）単位を修正の上、ご記載ください。

２．トライアル輸送の実施回数・輸送量・開始時期

|  |
| --- |
| 回 |

2-1）トライアル輸送実施回数

現時点で予定している実施回数を右欄に記入して下さい。

＊輸送期間は、原則9月から来年1月末迄の約5ヶ月間です。

＊トライアル輸送実施回数は最大3回です。ただし、重点事業のみ最大10回まで実施可能です。

|  |
| --- |
| TEU／回 |

2-2）現時点で予定しているトライアル輸送の輸送量

現時点で予定している1回あたりの輸送量を右欄に記入して下さい。

＊コンテナ以外の荷姿の輸送量については、（荷姿に応じて）単位を修正の上、ご記載ください。

|  |
| --- |
| 月頃 |

2-3）トライアル輸送の開始時期

現時点で予定している輸送開始時期を右欄に記入して下さい。

現時点で分からない場合は、「未定」と記載し、以下に理由を記入してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 開始時期未定理由 |  |

３．博多港利用の実現性

　　トライアル終了後、博多港利用の実現可能性について、当てはまるものに○を付けて下さい。また、実現の時期（目安）を記入してください。

※本件に関連し、貴社内での具体的な計画など、裏付けとなる資料等があれば、添付してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 実現可能性 | 　ア　トライアルを実施することにより、今後、博多港を利用する可能性は多いにある　イ　物流の決定権がある担当部署や取引先等と調整できれば、利用する可能性はある　ウ　実現に向けては、改めて検討や調整が必要であり、現時点では分からない　エ　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 実現の時期（目安） |  |
| 課題・特記事項など | ※現時点で想定されるトライアル事業実現化の課題（クリアすべき問題点、調整事項など） |